

とことこ通信

2020



山陽小野田こども発達支援センター「とことこ」

春遠からじ・・・



年明けから、早一ヶ月が経過し暦の上では、「立春」を迎えます。桜川には、冬の渡り鳥の「鴨」のファミリーが10数羽のんびり過ごしています。時に「鷺」も紛れてえさである小魚をついばんでいる風情があります。

「立春」とは、春の始まりを意味する節気で、一年で最も昼の時間が短い「冬至」と昼と夜の長さが同じ「春分」の間にできたのが「立春」のようです。

二十四節気の最初の節気で、旧暦では新しい年の始まりを意味していました。まだまだ冬の寒さのピークは2月と言われており、朝晩の冷え込みの厳しい日もあるようです。

とはいえ、公園の梅の芽もほころび始め、その他の木々の芽も膨らみを増しつつあり、「春遠からじ」を感じさせる風情が「とことこ」周辺にはあります。

「とことこ」の子どもたちも春を感じながら日々楽しく笑顔いっぱい過ごしています。季節の行事「節分」では、大きな赤鬼が登場の予感！！段ボール製の「赤鬼」は倉庫に密かに置かれその登場をひっそりと待っています。



文責：yoshimizu

HPちょっぴり更新予定です。3月～4月にリニューアルしようと思ってます・・・

桜公園で、凧揚げ・・・元気に走り回っています・・・



ほうれん草の収穫です！！



↑ ほうれん草をしっかり洗って・・・ 今日のおやつを作りましょう
ほうれん草のババロアができました！！

↓



← カニさんの砂場で 砂遊び